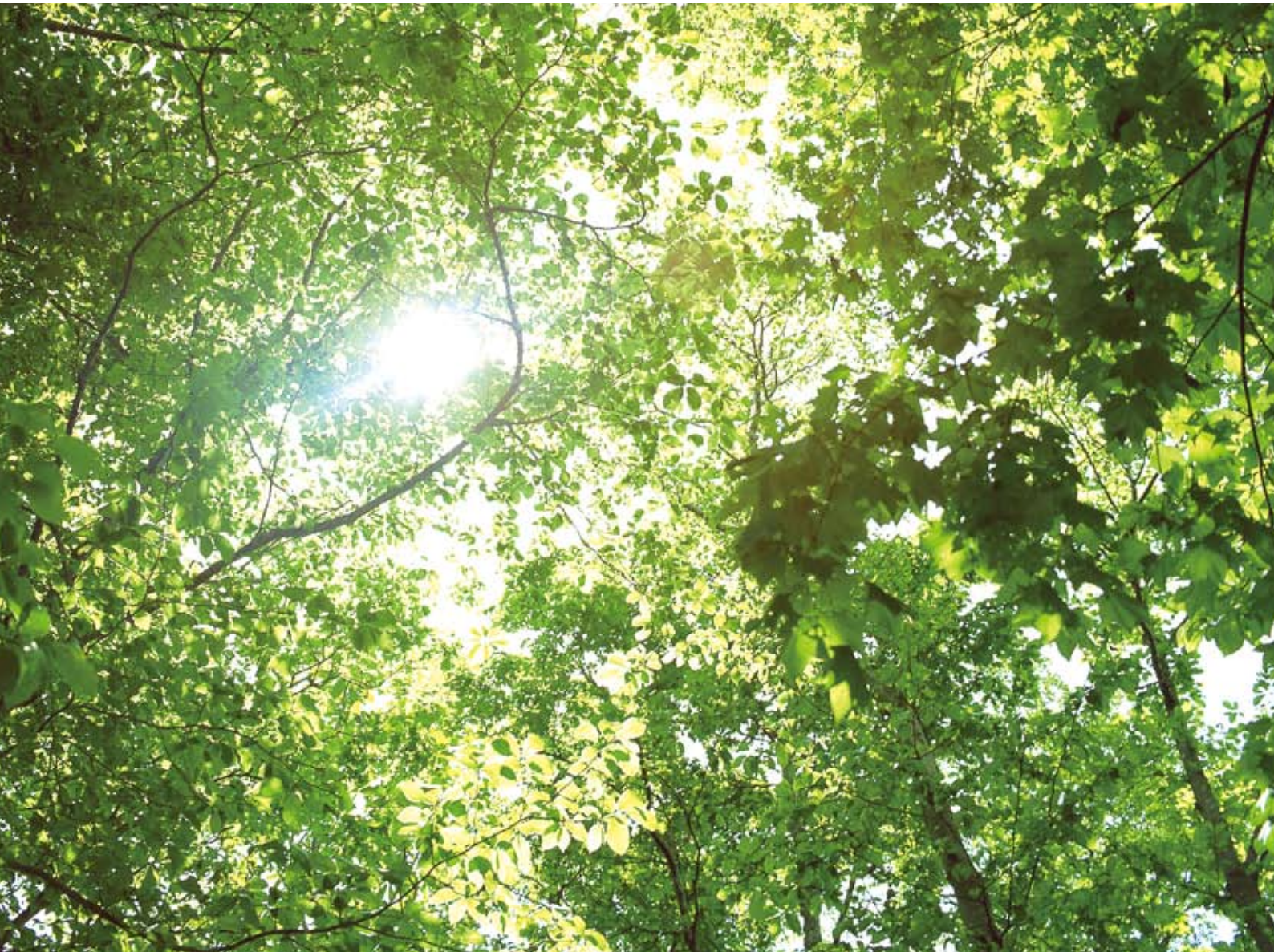


環境福祉学会

ご案内

環境福祉学会は、
21世紀を「福祉と環境との融合」を目指す時代とらえ、
この分野の研究、実践報告、情報の共有を図る学会です。



環境福祉学会

<http://www.kankyofukushi.jp>

学会設立趣旨

環境と福祉は、共に人類にとって21世紀の重要な課題です。人間として相応しい質の高い生活を送るための基礎的絶対条件になっています。

かつて環境と福祉の分野は関係が深く、双方が意識し交流がありました。地域の福祉活動家が公害問題を取り上げて社会に訴え、公害健康被害は福祉が優先的に対応すべきニーズとして考えられました。しかし、行政や学問の分化、専門化が進む中で、両者の関係は迂遠になっていきました。本来関係が深いにも関わらず、環境と福祉の分野は、それぞれ別個に活動するようになっていきました。

一方、地球サミットなど環境関係の国際会議では、途上国の貧困と環境に最も熱い論議が集中され、近年活発になっている企業の社会的責任(CSR)論では、欧米を中心に環境の側面と福祉を含めた社会の側面の一体的な取り組みが求められています。世界は、直面している問題を解決していくために、環境と福祉の両者の関係に目を向けています。

そこで、環境・福祉それぞれの分野の研究者、実務者、行政従事者など幅広い参加を得て、環境と福祉の相互の関係を考察するのみならず、環境福祉という新しい領域を創出することにより環境福祉学の確立を図り、政治、行政、産業、社会の発展に大きく貢献しようとするものです。

環境福祉学会事業概要

1. 機関誌の発行 「環境福祉学会誌」を発行し、会員に配布する。
2. 総会及び年次大会の開催 毎年1回開催する。
3. セミナー及び 環境福祉学発展のための、セミナー及び講演会を適宜
講演会の開催 開催する。
4. 交流会の開催 会員同士が自由に意見交換などで交流の場を設ける
交流会を開催する。
5. 情報・広報 学会の活動をニューズレターやホームページを使い、
広報・宣伝に努める。
6. 調査・研究 公共団体等からの環境福祉に関する調査や研究活動を行う。
7. その他



学会研究活動の視点

(1) 環境と福祉の相互関係(作用としての「環境福祉」)

①環境の福祉問題への影響と効果(「環境」⇒「福祉」)

例) 環境による健康被害の発生／自然環境との接触の有無と子どもの成育への影響、登校拒否児、閉じこもりの青少年への環境教育／森林療法／園芸療法 等

②福祉の環境問題への影響と効果(「福祉」⇒「環境」)

例) 障害者、高齢者による環境活動(コミュニティ・ガーデンの試み)／失業者による環境活動(グランド・トラスト運動)ボランティア／市町村社会福祉協議会による環境美化活動

③環境、福祉間の双方の関係(「環境」⇔「福祉」)

例) 途上国の環境と貧困問題

(2) 環境と福祉の融合(領域としての「環境福祉」)

①行政的取り組み

例) 環境福祉都市の建設

②社会的取り組み

例) 企業の社会的責任(CSR)論

③産業的取り組み

例) 環境福祉産業の創出

(3) 環境福祉学の確立

環境福祉学会組織及び役員

会 長	江草安彦	社会福祉法人旭川荘名誉理事長 川崎医療福祉大学名誉学長
副 会 長	伊藤達雄	名古屋産業大学名誉学長 鈴鹿医療科学大学客員教授
	潮谷義子	日本社会事業大学理事長 前熊本県知事
	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団済生会理事長 元環境事務次官
理 事	泉谷直木	アサヒグループホールディングス株式会社代表取締役社長
	植田和弘	京都大学大学院経済学研究科教授
	長田逸平	クライシスマネジメント協議会理事長
	寺田清美	東京成徳短期大学教授
	波田幸夫	環境新聞社代表取締役社長
	萩原元昭	群馬大学名誉教授
	花澤義和	NPO法人エコリンク21環境国際総合機構理事長
	藤田八暉	久留米大学経済社会研究所所長
	松寿 庶	福祉新聞社代表取締役社長
	安川 緑	金沢大学医薬保健研究域保健学系看護科学領域准教授
監 事	永井伸一	獨協医科大学名誉教授
	伊澤敏彦	元農林水産省東北農場試験場
事務局長	小峰且也	環境新聞社専務取締役
事 務 局	酒井 剛	環境新聞社事業部部長

会員の種別と会費

1. 正 会 員	年会費：5,000 円	本会の目的に賛同して入会した個人
2. 学生会員	年会費：3,000 円	本会の目的に賛同して入会した学生
3. 法人会員	年会費：20,000 円	本会の目的に賛同して入会した法人

環境福祉学会入会申込書

環境福祉学会事務局御中

FAX. 03-3359-7250

平成 年 月 日申込

入会申込	☐ 正 会 員 (年会費 5,000円) ☐ 法人会員 (年会費 20,000円) ☐ 学生会員 (年会費 3,000円)		
申込者氏名 (※法人会員は申込担当者名記入)	フリガナ -----		
自宅住所 (※法人会員は記入不要)	〒 ー 電 話 E-mail		
勤務先・就学先名称 (※法人会員は申込担当者所属団体名)	フリガナ -----	部署 役職	
勤務先・就学先所在地 (※法人会員は申込担当者所属部署所在地)	〒 ー 電 話 E-mail		
入会後の希望連絡先 (※法人会員は記入不要)	☐ 自宅 ☐ 勤務先		

※法人会員は、下記にご記入下さい。(申込担当者と同一の場合は記入不要です。)

法人名称			
法人代表者名			
法人代表者部署・役職			
法人代表者所在地	〒 ー 電 話 FAX		

- 入会手続き ● 入会申込：入会申込書にご記入のうえ、郵送又はFAXにてお申し込み下さい。
● 会費納入：指定口座に年会費をお振り込み下さい。

- ① 【口座名】環境福祉学会 ゆうちょ銀行 〇一八（ゼロイチハチ）支店（店番018）普通貯金口座：85927311
② 【口座名】環境福祉学会 三菱東京UFJ銀行 広尾支店 店番号 047／普通口座：1309827

■ お申し込み・お問合せ先

環境福祉学会事務局 〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3第1 富澤ビル 株式会社環境新聞社事業部内
TEL. 03-3359-5349 FAX. 03-3359-7250 E-mail: info@kankyofukushi.jp